

おきなわ環境クラブ(OEC)の活動と役割

沖縄県の自然環境

1972年の日本復帰後、沖縄では急激な開発や水質汚濁などによって、潮間帯と呼ばれる河口や海岸、干潟、サンゴ礁の多くが改変された。特にマングローブなど水辺植生は、埋立や護岸の建設によって消失した所がない。そこで、おきなわ環境クラブ(OEC)では子どもと大人が一緒に取り組めるマングローブと水辺植生の保護・回復活動や身近な課題を取り上げたワークショップを始めた。

OECは『自然と環境の保全は足元から!』をモットーに、『環境教育』を基軸として、沖縄本島や宮古島を中心に活動を展開している。

OECとは?

地域の自然保護・環境保全を目指す子どもと大人のNPO・NGO団体

主な活動方針

- ☑ 地域の自然と環境の保全
- ☑ 環境教育の推進
- ☑ まちづくりの推進
- ☑ 文化振興
- ☑ 関連団体への支援協力

水辺の自然と環境を切り口に

- ☑ ワークショップの開催
- ☑ 水辺緑化
- ☑ 環境教育に関する観察会及び研修会
- ☑ 自然と環境の題材を活かした地域振興
- ☑ 必要な調査研究、情報収集及び提供
- ☑ 会報及び出版物の発行

沿革

- 1999.04 任意団体として設立
- 1999.11 第1回ワークショップ開催
- 2001.07 大里分室開設
- 2001.07 第10回WS.水辺のMyキーフジ作戦
- 2002.03 **NPO法人化**
- 2002.05 ホームページ開設
- 2002.11 第1回沖縄エコツアーガイド養成
- 2003.07 第2回沖縄エコツアーガイド養成
- 2003.10 第23回ワークショップ開催
- 2004.04 JICA 集団コース研修『H16年度エコツーリズム人材育成』受入
- 2004.08 第3回沖縄エコツアーガイド養成
- 2005.04 JICA 集団コース研修『H17年度エコツーリズム人材育成』受入
- 2005.06 宮古エコツアーガイド養成

漫湖での活動

- ☒ 沖縄の河川、干潟、マングローブ湿地を考える象徴的な場
- ☒ 都会の真中にあり、身近にある。

うるま市州崎での活動

- ☒ 人工的なマングローブのビオトープ。
- ☒ 学習の場として最適
- ☒ マングローブの苗床、育苗、試験場として最適地
 - Ⅰ 採取、実験が可能

宮古島での活動

- ☒ 島嶼(とうしょ)の自然保護と水環境(地下水)保全を考え、活動するのに最適な島
- ☒ それらの資源を活かしたエコツアーが展開できる島

マングローブ保全活動

- ☒ 希少種、危急種対策
 - Ⅰ 調査、育苗、移植、保育・管理
 - ・ 沖縄本島のヒルギモドキ
 - ・ 宮古島のヒルギモドキ、ヒルギダマシ
 - ・ 石垣島のマヤブシキ、ミモチシダ、ゴバンノアシ
 - ・ 那覇市天然記念物のナハキハギ
- ☒ 育苗方法、植生回復方法の研究開発
 - Ⅰ ヒルギモドキ、ヒルギダマシ、ミモチシダなどは確立
 - Ⅰ マヤブシキは未確立

保全活動の成果

- ☒ マングローブなど水辺の植物約30種について、種保存のための育苗と植生を再生・回復の技法を確立した。
- ☒ 危急種の保存と水辺植生の再生・回復は、**当地の実生から当クラブが自前で育てた苗木を用いて、当該地の潜在的な植生に準じて行っていることが特徴。**

水辺のMyキーフジ作戦

- ☒ サガリバナは、水辺に生える象徴的なバックマングローブ
- ☒ 当たり前にあった植物を復活、そして観光資源、環境教育の資源としての活用
- ☒ 木のそばに植樹者の名前を書いた標柱を立て、雑草取りや散水など、大きく育つまで当人が保育管理を行う

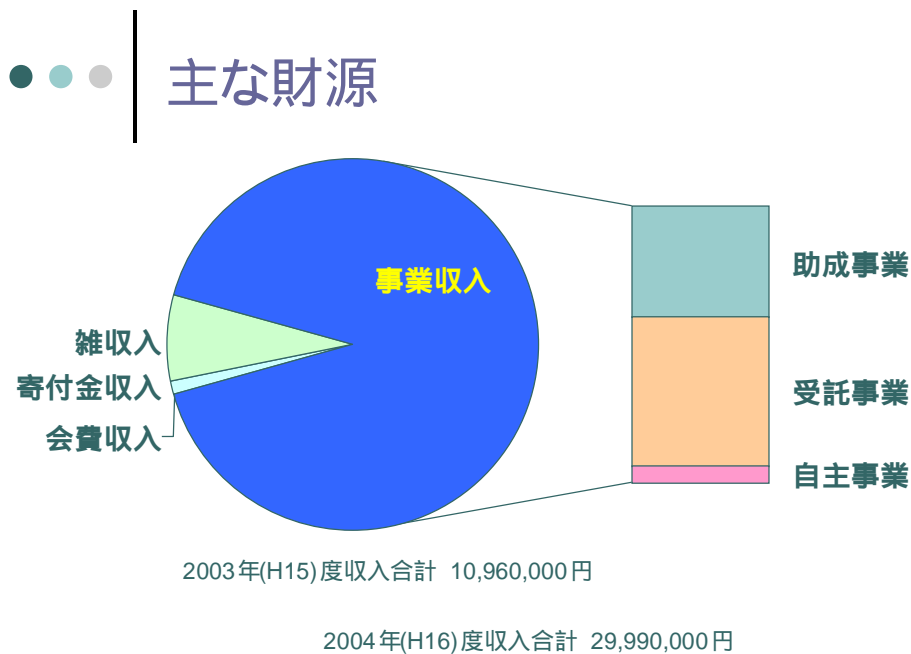
OKINAWA *Barringtonia* festival

- ☒ おきなわバrintニア・フェスティバル2003
 - Ⅰ 沖縄県庁ロビーパネル展示
 - Ⅰ バrintニアコンサート
 - Ⅰ 県庁構内バrintニア・ライトアップ

- ┆ 那覇市役所ロビーパネル展示
- ┆ 識名園(世界遺産)見学会
- ┆ 国場バリエントニア講演会、大嶺さん
- ㊦ 沖縄の夏祭りとして県内外、海外へ向けての発信

組織・体制

- ㊦ 会長代行、副会長、含む役員 8名、監事1名
- ㊦ 事務局 7名
 - ┆ 有給・常駐職員4名、有給・非常勤3名、無給・常勤1名
- ㊦ 会員数 約150名
- ㊦ 活動拠点
 - ┆ 那覇市: 国場事務所
 - ┆ 沖縄県庁4階: 地域環境センター
 - ┆ 南城市: 大里分室
 - ┆ うるま市: 中部支局
 - ┆ 宮古島市: 宮古支局



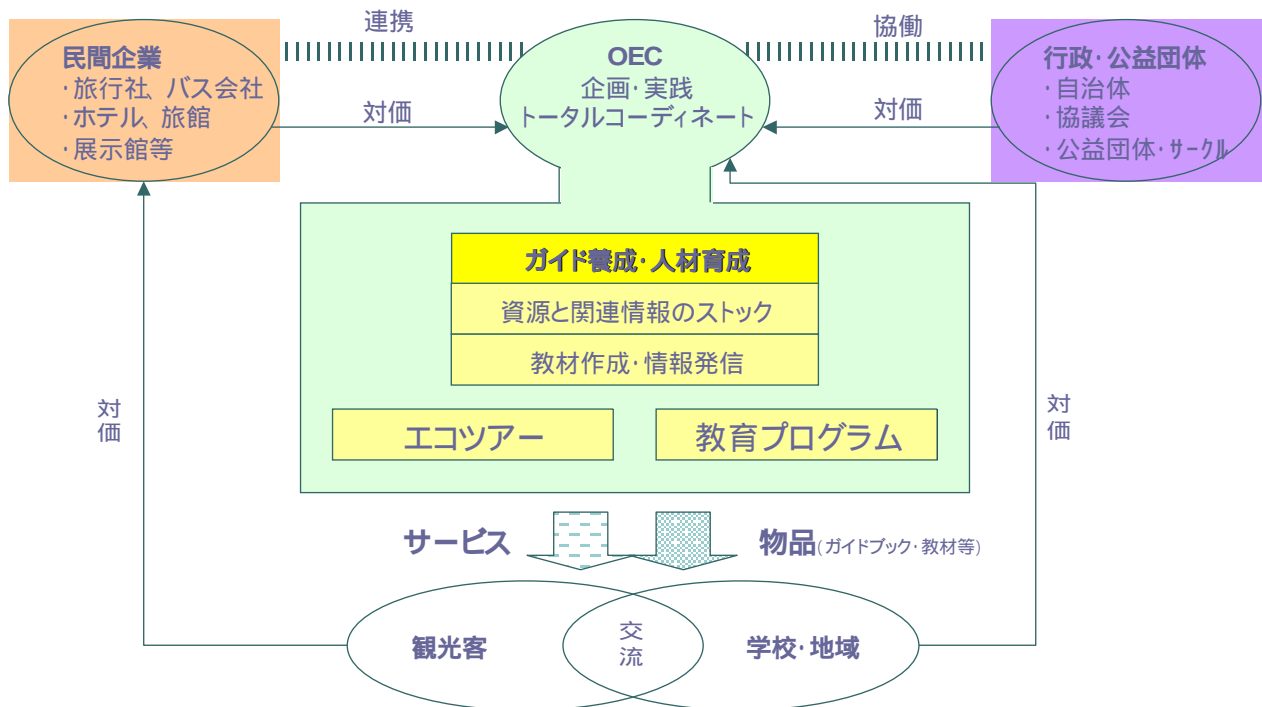
主な財源

事業収入内訳(平成16年度)

- ㊦ 助成事業
 - ┆ 地球環境基金
 - ┆ 河川環境財団
 - ┆ 経済産業省(地域活性化モデル、環境コミュニティビジネス)
- ㊦ 受託事業
 - ┆ 沖縄エコツアーガイド養成
 - ┆ JICA(集団研修、留学生セミナー、福利厚生)

- ┆ 那覇市エコツアー資源調査
- ┆ 沖縄県地域環境センター管理・運営
- ┆ 宮古ガイドブック出版
- ┆ ホームページ作成・維持管理(2件)
- ㊦ 自主事業
 - ┆ 環境教育
 - ┆ エコツアー
 - ┆ 教材普及

OECの位置付けと役割



OECの位置付けと役割: 沖縄エコツアーガイド

- ㊦ 沖縄県商工労働部雇用対策課「緊急雇用対策事業」
 - ┆ 沖縄の観光産業と環境教育を支える人材育成
- ㊦ 到達目標
 - ┆ 沖縄本島を代表する次の14地点のガイド・解説ができる。また室内での講義ができる。
 - ・ 沖縄本島にある世界遺産群 9ヶ所
 - ・ 本島マングローブ 4ヶ所
 - ・ ラムサール条約登録湿地「漫湖」
 - ┆ 素材の探し方・まとめ方、勉強の方法、案内の方法を学ぶ
- ㊦ 400時間 / 3ヶ月の訓練

- Ⅰ 講義、施設見学、現場学習、ガイド実習
- ㊦ 現在56名の登録ガイド

観光事業と環境教育の結びつき

- ㊦ 観光産業(エコガイド)と環境教育(講師)を担う地域の人材育成

JICAの人材育成事業

- ㊦ 集団研修
 - Ⅰ 熱帯・亜熱帯地域エコツーリズム人材育成
 - ・観光行政・環境保全分野の行政、NGO団体に所属する9名、2ヶ月
- ㊦ 留学生セミナー
 - Ⅰ 島嶼地域の観光開発と環境保全
 - ・日本国内の大学に留学している学生15名、7日間
- ㊦ 国別研修
 - Ⅰ メキシコ・ユカタン半島湿地保全プロジェクト
 - ・国立公園所長、10日間

JICA研修を通しての成果

- ㊦ カリキュラムを組む過程で、エコツーリズムへの導入手法について整理がされた
- ㊦ 講師依頼・視察訪問を通して人的ネットワークが広がった
- ㊦ 視察を通して、各地のエコツーリズムの現状(よい点・課題点)を知ることができた
- ㊦ 研修生との交流で、それぞれの国の課題や沖縄の課題点を知ることができた
- ㊦ 沖縄エコツアーガイドの活躍

OECの位置付けと役割: 那覇市ゆいレール沿線エコツアー資源調査

- ㊦ 平成15年8月10日『ゆいレール』開通
- ㊦ 『ゆいレール』開通を契機に、那覇市を中心に駅と沿線を軸とする多様な都市型エコツアーの展開が期待。
- ㊦ 都市型エコツアーを展開するための自然や歴史、文化、芸術について基礎的な資源調査を行い、それらの情報をデータベース・資料集としてまとめ、今後のエコツアープログラムに役立てる。
- ㊦ 今回の調査結果を基に那覇エコツアープログラムを企画して、『沖縄エコツアーガイド』など地域の人材を活用して実践し、それらを検証。
- ㊦ 体験も含めた学習プログラムを実践することでそれらの理解を深め、その保全に貢献することをめざす。

資源調査の成果

- ㊦ 資源の捉え方、分類の考え方
- ㊦ 資源調査方法
- ㊦ データベース化の考え方
- ㊦ 資源データの蓄積
- ㊦ イラストマップやガイドブックなどの作成
- ㊦ 報告書
- ㊦ 人材・調査員

OECの位置付けと役割:教材作成・情報発信

- ☒ おきなわ自然ガイドブックシリーズ ~
- ☒ リーフレット
- ☒ マングローブ胎生種子、苗木
- ☒ マングローブとサガリバナ等の鉢植えセット
- ☒ ピオトープセット
- ☒ エコツアー催行時のしおり
- ☒ 教育プログラム時のレジュメ
- ☒ 地域環境センター管理
- ☒ 外部WEBサイト構築

OECの位置付けと役割:エコツアーとは

- ☒ 旅行者の教育
- ☒ 絶滅に瀕した動植物の保護
- ☒ 文化・歴史的環境保全への貢献
- ☒ 専門ガイドの利用
- ☒ 地元社会の利益
- ☒ ゴミの削減と最小限のインパクト

日本・沖縄でのエコツアー

- ☒ 美しい自然
- ☒ 特別な場所

OECが考えるエコツアーとは

- ☒ 自然
 - ┆ マングローブ、さんご礁、水鳥、湧水、ゴミ
- ☒ 文化・歴史
 - ┆ 世界遺産、史跡、琉球舞踊、音楽、食
- ☒ 施設
 - ┆ 街並み、伝統的建物、公園、街路樹、教室、舞台、交通、モノレール
- ☒ 人材
 - ┆ 沖縄エコツアーガイド、歴史ガイド、専門家、地域の人々

などなど……………

☒ 対象

- ┆ 海外や他県からくる人達
- ┆ 沖縄県内の人達

☒ 特徴

- ┆ 都市部をフィールドとするためアクセスが容易で年齢を選ばない
- ┆ 簡単な事前講義(レジュメ配布)と現場でのガイド・解説の組み合わせ
- ┆ 日常と比較しやすい

沖縄都市モノレール(40万人圏)を軸にした都市型エコツアー創出

旅行エージェント

- ☒ クラブツーリズム(近畿日本ツーリスト)
 - Ⅰ いたれりつくせり沖縄周遊3日間
- ☒ エアー沖縄
 - Ⅰ ゆいレールでいく(春、秋、冬)
 - ・ 那覇・水めぐり 歴史と自然発見エコツアー
 - Ⅰ 夏休み
 - ・ やんばる自然体験学習
 - ・ 水辺にはどんな生きものたちがいるかな
 - ・ 宮古島自然体験学習
 - ・ 宮古の水とマングローブ探検
 - Ⅰ 新春琉球歴史めぐり
 - ・ 世界遺産、歴史の道、桜まつり、たんかん狩り
- ☒ JTB
 - Ⅰ 修学旅行

OECの位置付けと役割:教育プログラム

- ☒ 北谷教育委員会
 - Ⅰ NPO等と学校教育との連携の在り方についての実践研究事業
 - ・ 北玉小学校(白比川)
 - ・ 北谷第二小学校(健康食)
 - ・ 北谷中学校(沖縄の世界遺産、桑江公園・白比川)
- ☒ 嘉手納町立屋良小学校
 - Ⅰ 総合的な学習の時間「屋良っ子タイム」
 - ・ 小さなマングローブのピオトープづくり
- ☒ 具志川市あげな中学校
 - Ⅰ 総合的な学習の時間、選択科目
 - ・ 州崎マングローブテラスでの活動

OECの位置付けと役割:行政との協働

- ☒ 国
 - Ⅰ 環境省、林野庁、経済産業省
 - ☒ 沖縄県
 - Ⅰ 文化環境部、観光リゾート局、商工労働部、宮古支庁、教育庁
 - ☒ 那覇市
 - Ⅰ 観光課、環境保全課、なは未来室、花とみどり課、教育委員会
 - ☒ 北谷町
 - Ⅰ 教育委員会
 - ☒ 平良市
 - Ⅰ 村づくり課
- 公益団体との協働
- ☒ 独立行政法人国際協力機構(JICA)
 - ☒ 独立行政法人環境再生機構

- ㊦ 財団法人河川環境管理財団
- ㊦ 財団法人都市緑化基金
- ㊦ 社団法人日本旅行業協会
- ㊦ 全国労働者共済生活協同組合連合会
- ㊦ 宮古広域圏事務組合

民間との連携

- ㊦ 旅行会社、バス会社
 - Ⅰ クラブツーリズム、エアー沖縄、JTB、JALツアーズ
 - Ⅰ 沖縄バス、ゆいバス、沖縄都市モノレール
- ㊦ 案内施設
 - Ⅰ 世界遺産群・有料区域の無料ガイドパス
- ㊦ 報道各社
 - Ⅰ 活動の告知と紹介、宣伝

地域(市民)との取り組み

- ㊦ ワークショップの開催
 - Ⅰ 水辺緑化、Myキーフジ作戦
 - Ⅰ クリーンアップ作戦
 - Ⅰ 国際交流環境ワークショップ
- ㊦ セミナー、講習会の開催
 - Ⅰ OEC沖縄講座、サガリバナ講習会

結果として

今後の取り組み

- ㊦ これまでの活動の継続と更なる具体化
- ㊦ 会員の確保(影響力の増大)
- ㊦ 活動財源の確保
 - Ⅰ 自主事業の拡大(教材作成・情報発信)
- ㊦ エコツアープログラムの充実
 - Ⅰ 沖縄エコツアーガイドの活用
- ㊦ 地域経済への還元方法
- ㊦ 海外へ向けた活動